

灰色文献グリーン化大作戦！

—文化遺産の記録をすべての人々へ！—



ライム博士
島大附属図書館マスコット

●遺跡資料リポジトリとは？

発掘調査報告書は重要な学術情報資源の一つです。でも現状は・・・

そこで、発掘調査報告書を全文電子化して、インターネット上で流通させる遺跡資料リポジトリを始めたんだね。プロジェクトが始まって3年経ったけど、20府県域へと拡大、電子化した報告書は、これまでに出された報告書の6分の1の9千冊余りと、なかなか頑張っているみたいだね。



みいなちゃん

遺跡の発掘調査報告書は、全国でこれまでに6万冊くらい出されていると言われていたけれど、正確な数は分かっていないんだ。発行部数も300部~500部と少なく、流通範囲が限られていて利用するのが大変な「灰色文献」の一つなんだ。



けんさく君

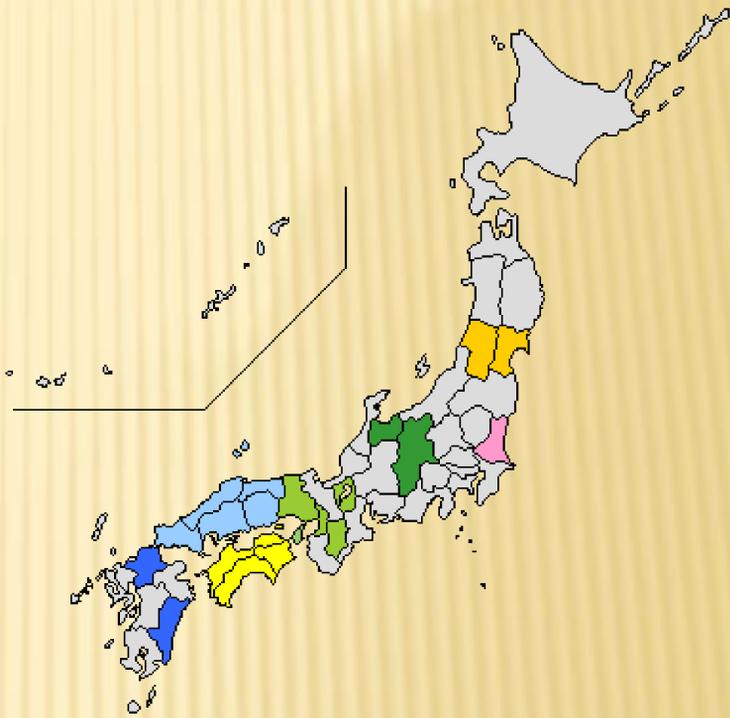
そうじゃのう、3年間プロジェクトをやってきて、日本地図がだいたい塗りつぶされてきて感慨もひとしおじゃ。だが、まだまだ道半ば、すべての国土が塗りつぶされて初めて、発掘調査報告書を求める人が自由に文献を入手できるようになり、灰色文献がグリーン化するのじゃ。では、これからわしの「国土緑化作戦」をお教えしよう！



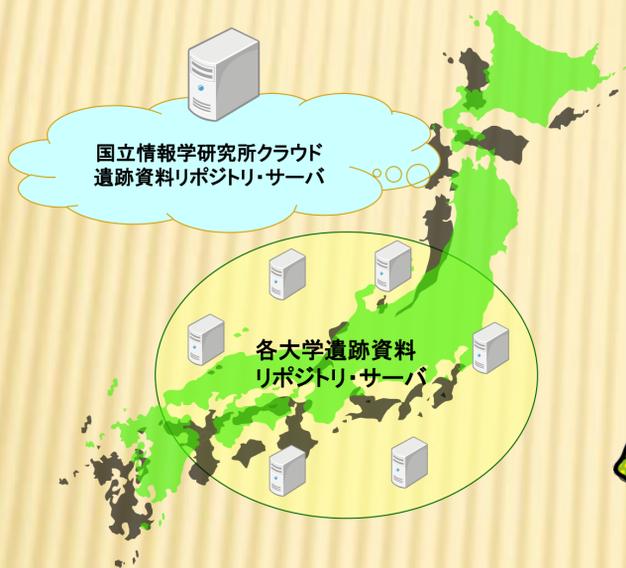
●20府県域へ拡大

ライム博士の国土緑化作戦とは？・・・

	平成20年度 (2008)		平成21年度 (2009)		平成22年度 (2010)		合計	
	冊数	ページ数	冊数	ページ数	冊数	ページ数	冊数	ページ数
鳥取県	102	6,528	731	58,874			833	65,402
島根県	306	19,616	661	70,368	120	10,165	1,087	100,149
岡山県	235	15,040	198	20,500	133	14,346	566	49,886
広島県	108	5,300					108	5,300
山口県	169	10,816	150	14,520			319	25,336
宮城県			25	4,811	11	1,229	36	6,040
茨城県			35	4,125	163	18,247	198	22,372
大阪府			317	27,803	88	9,728	405	37,531
兵庫県			524	95,147			524	95,147
香川県			413	35,475	133	45,515	546	80,990
高知県			201	20,520	11	613	212	21,133
宮崎県			377	36,896	224	15,727	601	52,623
山形県					850	8,500	850	8,500
富山県					93	17,977	93	17,977
長野県					1,555	162,116	1,555	162,671
滋賀県					249	22,403	249	22,403
奈良県					92	8,038	92	8,038
徳島県					98	21,023	98	21,023
愛媛県							0	0
福岡県					1,013	101,300	1,013	101,300
合計	920	57,300	3,632	389,039	4,833	456,927	9,385	903,821



●クラウドシステムによるさらなる拡大



平成22年度からは、国立情報学研究所（NII）がクラウドシステムの運用を開始し、平成22年度に参加した8大学は、クラウドシステムでの遺跡資料リポジトリの運用を開始したのじゃ。クラウドを利用することで、システムの構築と運用の手間が不要となり、新規参加の敷居が非常に低くなってきている。今が、参加のチャンスじゃ。まだ参加されていない機関は、この機会にぜひご検討ください。



さすが、NIIさんて素敵♡
これからは、やっぱりクラウドの時代ね。

●セルフアーカイビングと新たな参加モデル

これまでの事業は、既刊の報告書の遡及的な電子化と公開が中心だったけど、これからは、日々生産されているカレントな報告書の電子版(PDF)をリポジトリに登録する流れをきちんと作っていくことが大切なんだ。そのためには、自治体担当者によるセルフアーカイブを推し進める必要があるんだよ。

これまで、各府県域の主幹となる大学が遺跡資料リポジトリ・サーバを構築して、府県下の自治体が発行する報告書を集約して登録していたが、都道府県によっては、大学の事情でそのようなモデルが採用できないケースもあるのじゃ。複数の県域をカバーする遺跡資料リポジトリのクラウドシステムを構築し、そこに自治体が直接参加できるようなしくみなど、複数の参加モデルを用意することもこれからの課題じゃのう。



うれい



全国のリポジトリ担当者、自治体文化財部署、文化財行政、団体、専門機関の皆様、ご協力をお願いします！

《全国遺跡資料リポジトリ・プロジェクト 構成メンバー》

(平成20年度) 代表機関： 島根大学 / 連携機関： 鳥取大学、岡山大学、広島大学、山口大学
 (平成21年度) 新規連携機関： 東北大学、筑波大学、大阪大学、神戸大学、香川大学、高知大学、宮崎大学
 (平成22年度) 新規連携機関： 山形大学、富山大学、信州大学、滋賀大学、奈良女子大学、徳島大学、愛媛大学、九州大学
 協力機関： 各自治体埋蔵文化財担当部署、奈良文化財研究所、国立国会図書館関西館 遺跡関連機関・団体ほか